

平成17年3月期 決算説明資料

ニッシン債権回収株式会社
(東証マザーズ 8426)

2005年5月16日

[将来予測に関する記述について]

本資料には、当社グループの意図、信念、現在及び将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在及び将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意ください。実際の業績に影響を与えうる潜在的なリスクや不確実性を伴う要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・ 日本国内の経済環境の回復に伴う不良債権の流動化市場の収縮
- ・ 競争激化による特定金銭債権の買取価格の水準の高騰、及び受託手数料の低下による利益率の下落
- ・ 回収期間の長期化による収益性の悪化
- ・ 債権管理回収業に関する特別措置法の改正
- ・ 好条件での資金調達先の有無及び金融政策等の変更による影響
- ・ 親会社である(株)ニッシンの事業戦略、及び経営成績等
- ・ 当社の利用する情報、基幹システム、及びネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等によって、新たなリスクや不確実な要素が発生する可能性があります。

平成17年3月期の業績概要

投資実績

(単位:百万円)

	平成16年3月期		平成17年3月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
債権買取	4,501	96.7%	15,251	77.9%	238.8%
不動産買取	5	0.1%	1,641	8.4%	—
共同買取	151	3.2%	2,675	13.7%	—
投資総額	4,657	100.0%	19,567	100.0%	320.2%

積極的な債権買取と投資の多様化により、
投資総額は大幅に増加

連結営業収益の内訳

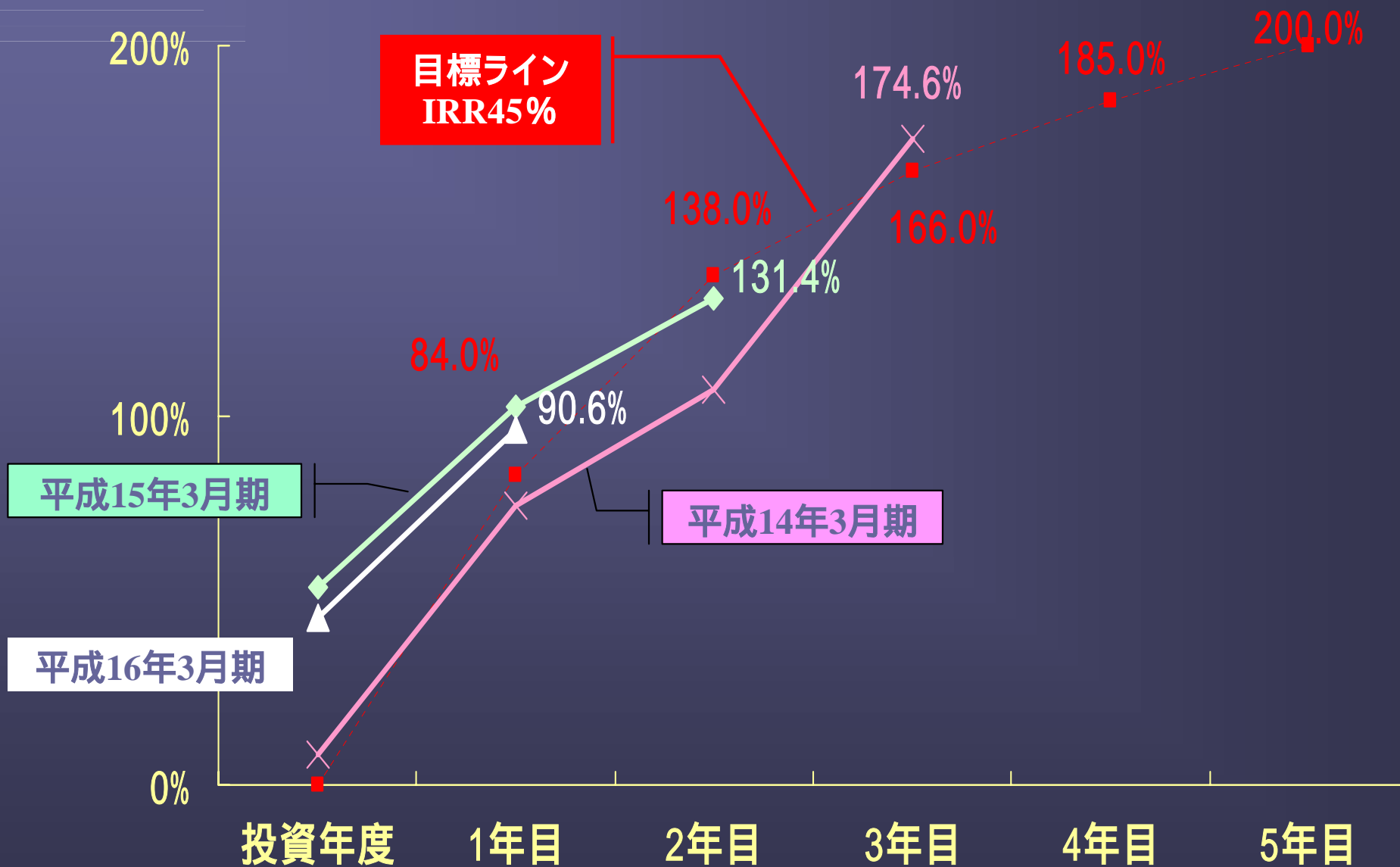
営業収益の内訳

(単位:百万円)

	平成16年3月期		平成17年3月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業収益	4,599	100.0%	11,198	100.0%	143.5%
買取債権回収高	4,537	98.7%	9,590	85.7%	111.4%
買取不動産売却高	35	0.8%	1,404	12.5%	
受託手数料	9	0.2%	22	0.2%	144.4%
その他	15	0.3%	181	1.6%	

買取債権の順調な回収進捗
不動産・共同投資関連の収益が貢献

買取債権回収実績率の推移



平成17年3月期迄の個別数値です。

連結業績概要

業績概要

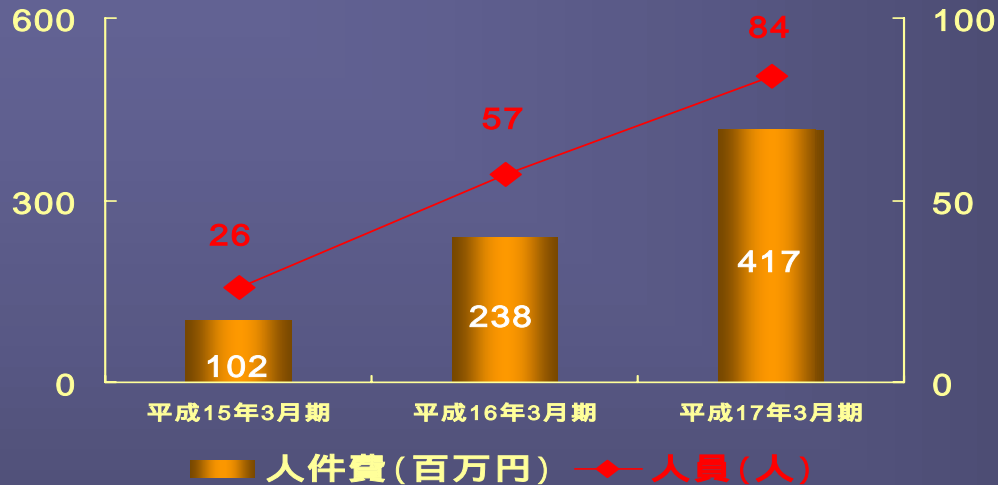
(単位:百万円)

	平成16年3月期	平成17年3月期	前期比
営業収益	4,599	11,198	143.5%
営業総利益	2,097	3,860	84.1%
営業総利益率	45.6%	34.5%	
代理回収弁済金控除後の営業総利益率	50.8%	39.5%	
営業利益	899	1,926	114.1%
経常利益	750	1,761	134.8%
当期純利益	406	1,022	151.7%

投資拡大、営業収益の多様化と共に営業費用も膨らみ、営業総利益率は低下したが、増収効果で吸収。

主要コストの推移

人件費 (派遣社員含)



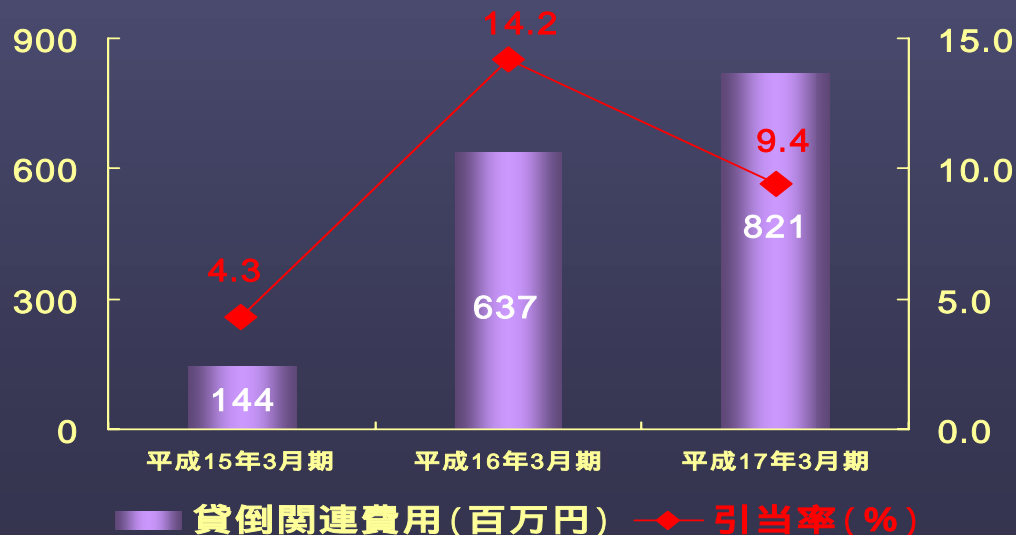
(増加要因)

- ・債権増加、専門スタッフ採用

(今後の方針)

- ・資産規模・内容に見合った人材確保

貸倒関連費用 (貸倒損失 + 引当金繰入額)



(傾向)

- ・債権買取後の年数経過により費用増加

- ・債権買取増加により引当率は低下

(今後の方針)

- ・買取債権の個別管理強化

平成15年3月期は個別、平成16年3月期以降は連結数値です。

財政状態

財政状態

(単位:百万円)

	平成16年3月期	平成17年3月期	前期比
総資産	6,684	20,474	206.3%
純資産	1,544	4,687	203.6%
有利子負債	4,509	14,890	230.2%
自己資本比率	23.1%	22.9%	0.2p
自己資本利益率	26.3%	32.8%	+ 6.5p
有利子負債比率	67.5%	72.7%	+ 5.2p

- ・総資産 …… 買取債権、共同買取の大幅な増加
- ・純資産 …… マザーズ市場上場に伴う公募増資の実施
- ・有利子負債 …… 間接調達の拡大

不良債権買取市場の状況

不良債権買取市場

買取価格の上昇
再生型案件等の増加

供給サイド

都市銀行 ピークアウト
地方銀行 今後本格化
RCC 二次譲渡本格化

今後も一定量の不良債権処理額
は見込まれる

需要サイド

資金力、回収力の豊富な業者
による積極的な買取姿勢

ファンド活用により再生型案件
に対応

投資拡大施策

不動産関連強化

共同買取推進

地域営業担当の配置

再生事業取組み

投資拡大

不動産担保
付債権拡大

不良債権に関連
する不動産取得

入札機会の拡大

地銀開拓

多様化する流動化
ニーズに対応

目標指標

買取債権回収率目標 170% ~ 200%

代理回収弁済金控除後の営業総利益率 40%

株主資本比率 25%

平成18年3月期の連結計画

業績概要

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成18年3月期計画	前期比
債権買取	15,251	15,000	
営業収益	11,198	12,722	13.6%
営業総利益	3,860	4,985	29.2%
代理回収弁済金控除後の営業総利益率	39.5%	39.2%	
営業利益	1,926	2,612	35.6%
経常利益	1,761	2,308	31.0%
当期純利益	1,022	1,372	34.2%

債権買取計画(150億円)の内訳

都市銀行・・・4,500 その他・・・3,750
 地方銀行・・・2,250
 RCC・・・3,000
 信託銀行・・・1,500

営業収益計画(127億円)の内訳

買取債権回収高・・・10,312
 不動産売却高・・・2,000
 共同投資収入・・・352
 受託手数料等・・・57

債権買取額・買取債権残高の推移

(単位:百万円)



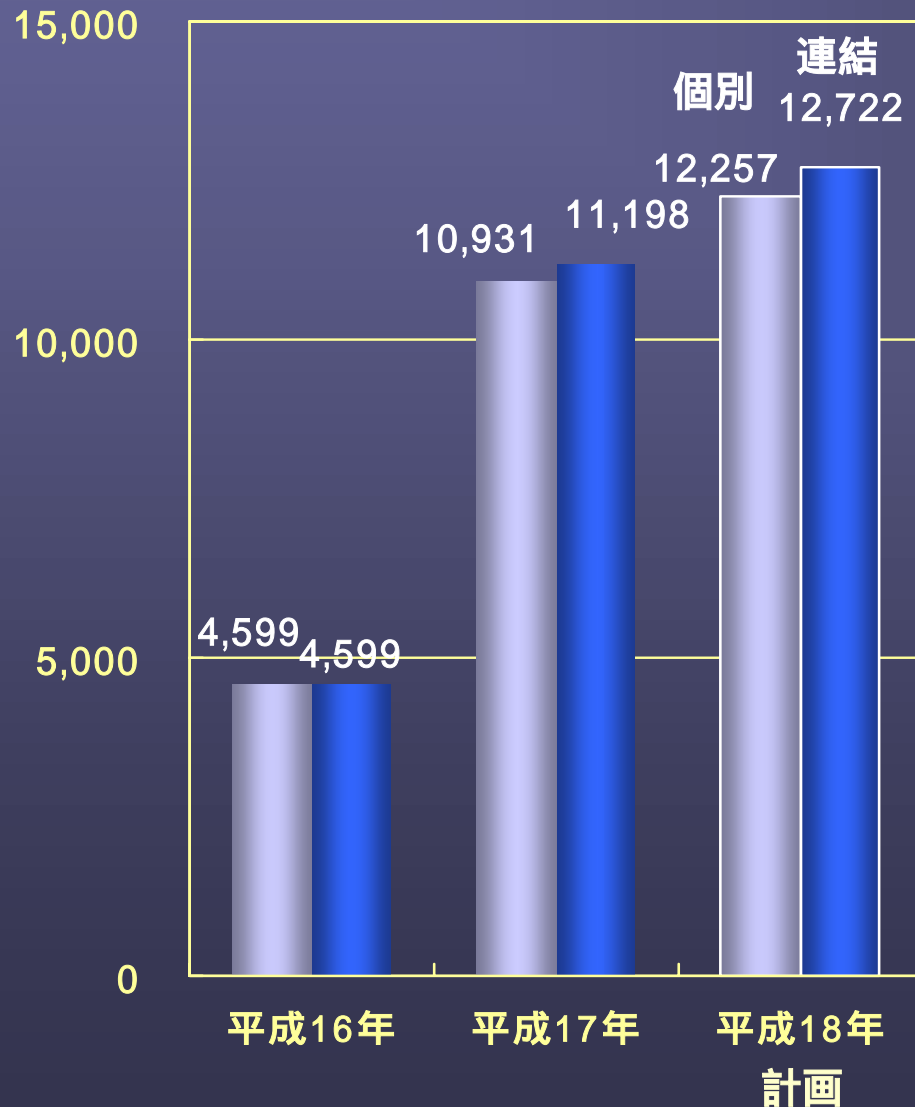
■ 債権買取額 (投資額) ■ 買取債権 (残高)

平成15年3月期は個別、平成16年3月期以降は連結数値です。

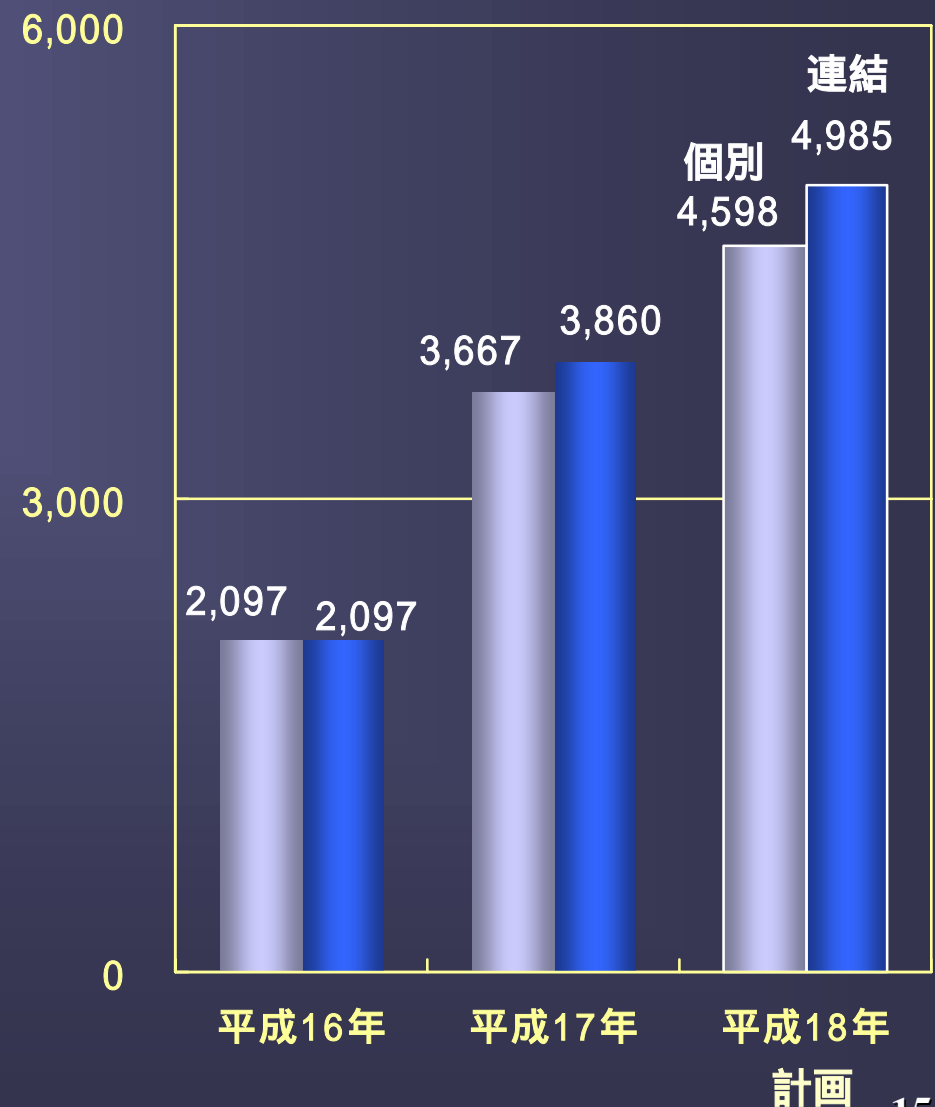
営業収益・営業総利益の推移

(単位:百万円)

営業収益

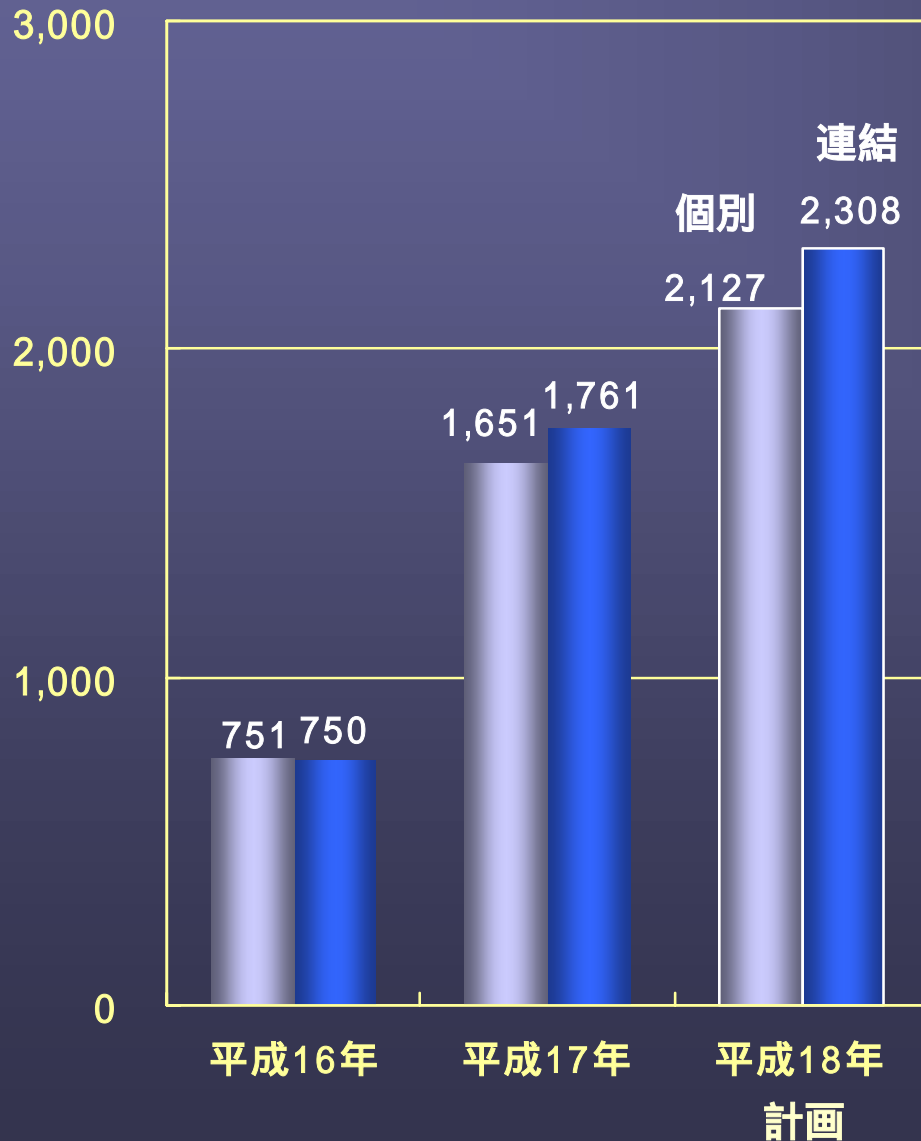


営業総利益



経常利益及び当期純利益の推移

経常利益



当期純利益

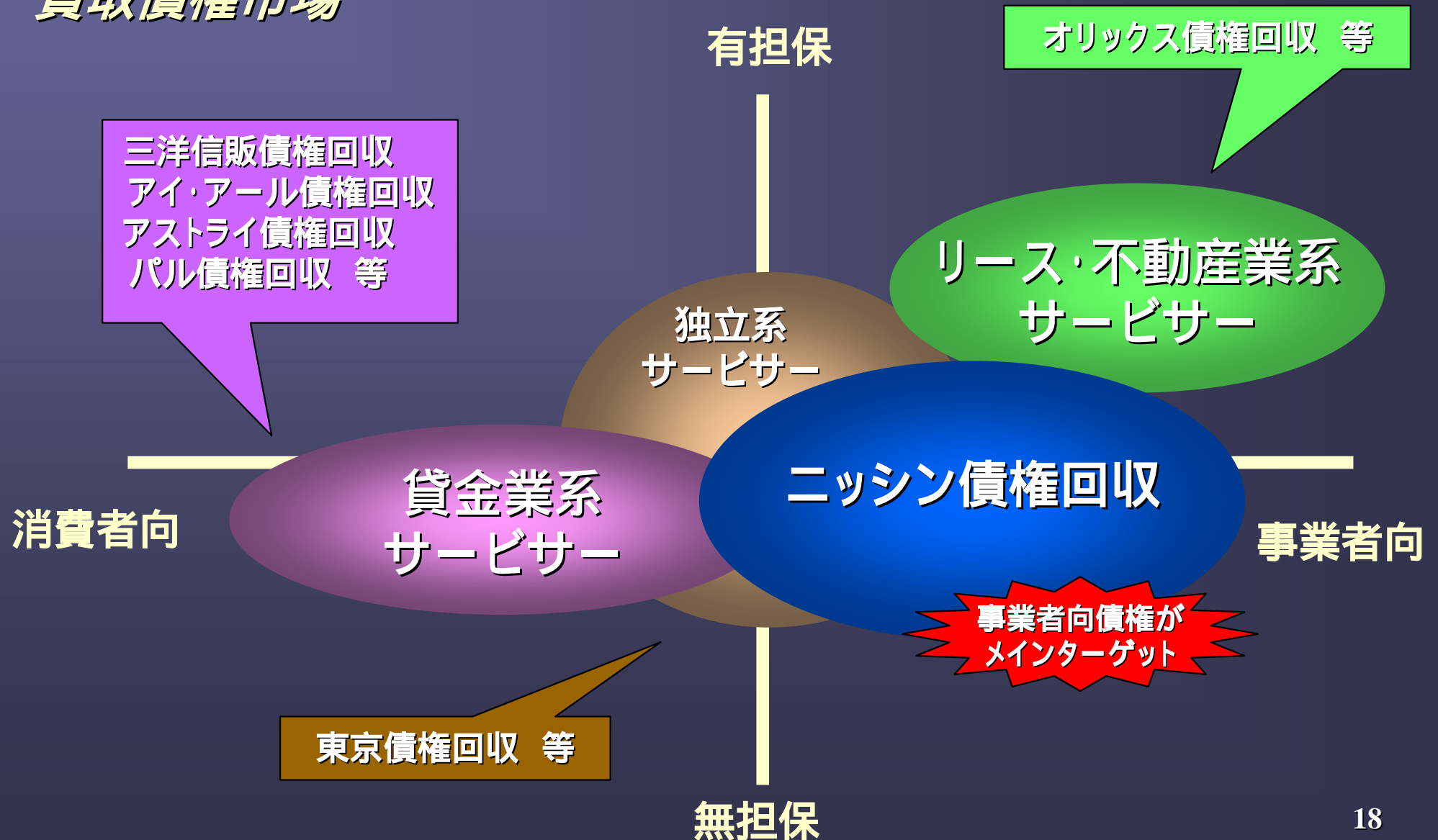
(単位:百万円)



參考資料

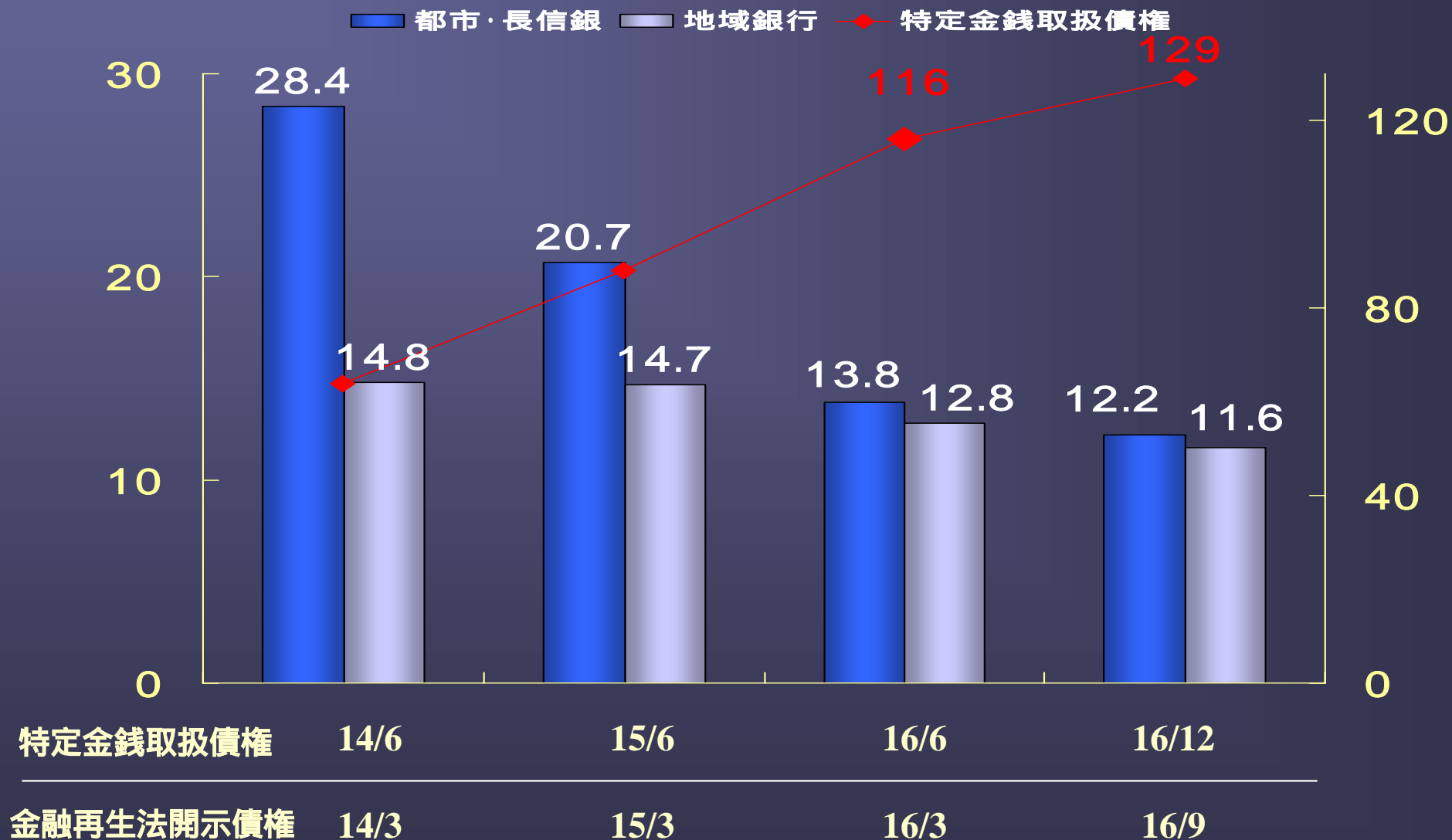
当社のマーケットポジションと競合

買取債権市場



市場規模の推移

(単位:兆円)



不動産関連業務

一般的な不動産流通市場

不動産アセット
マネジメント会社

売却

バリューアップ

取得

不良債権に 関連する不動産市場

売却

稼働率改善(リーシング)

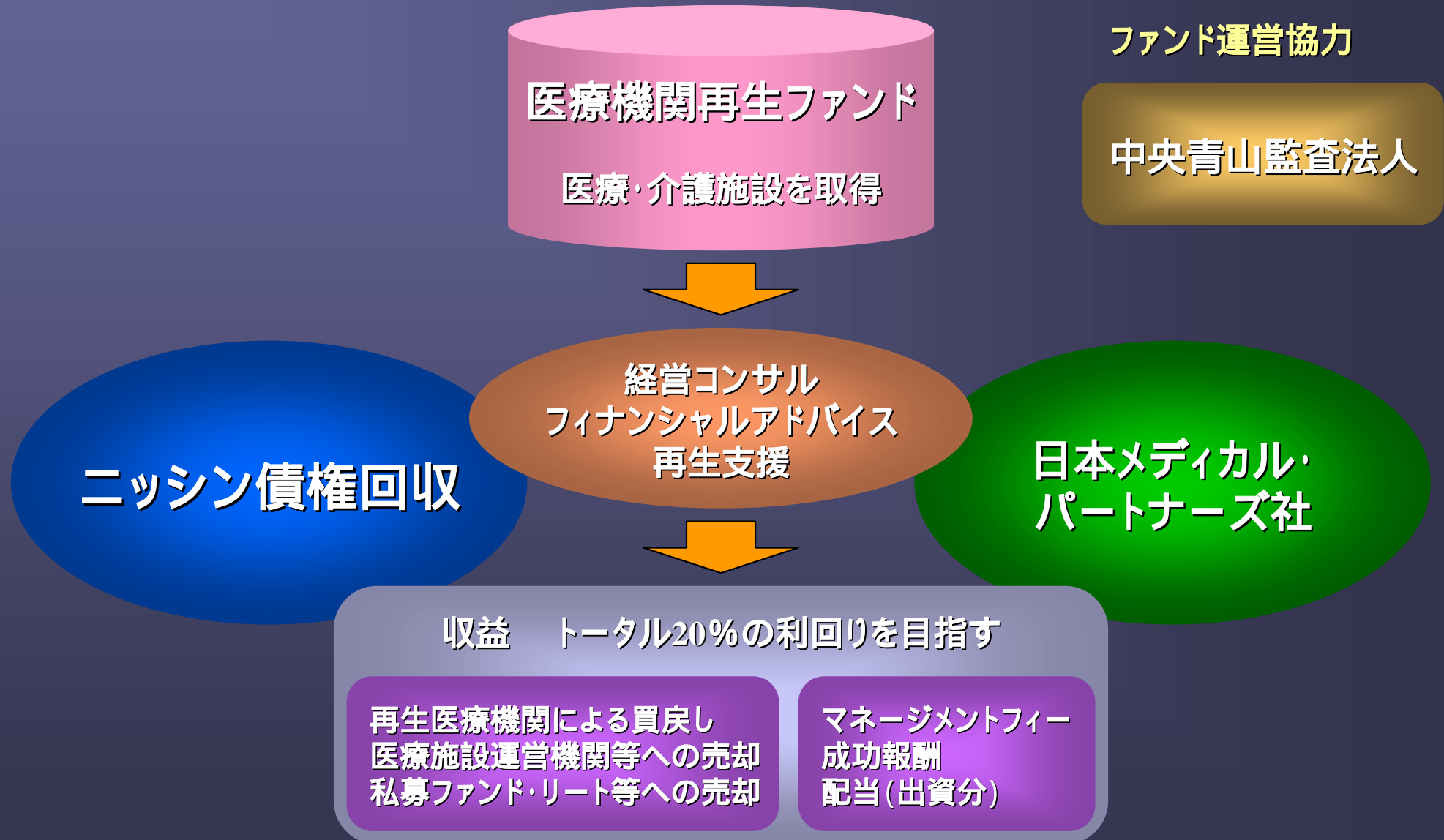
権利関係調整

債権処理(債務者の再生協力)

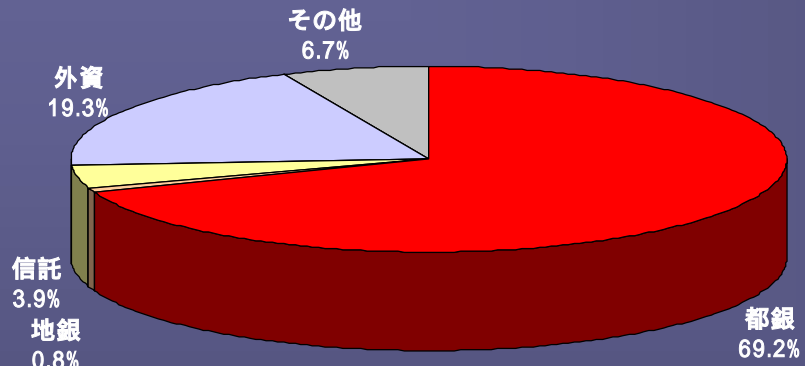
取得

ニッシン債権回収

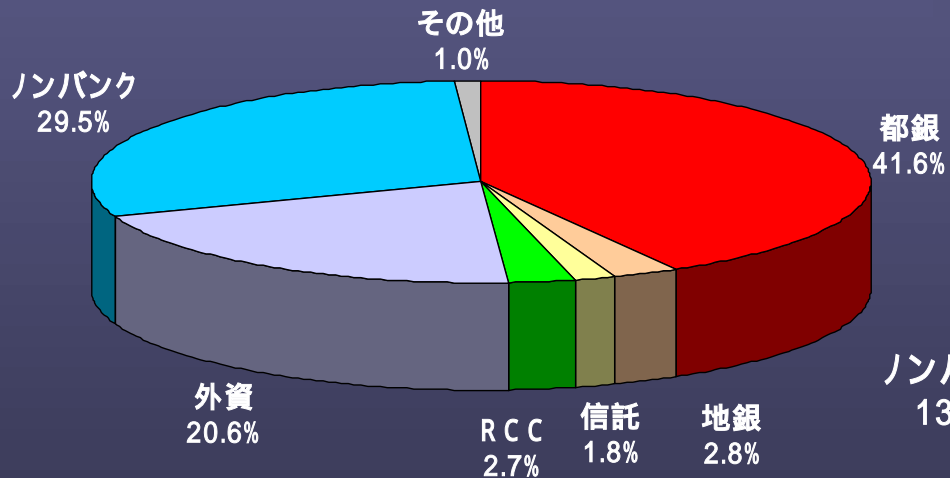
医療機関再生事業



取引先別 買取債権(投資額)

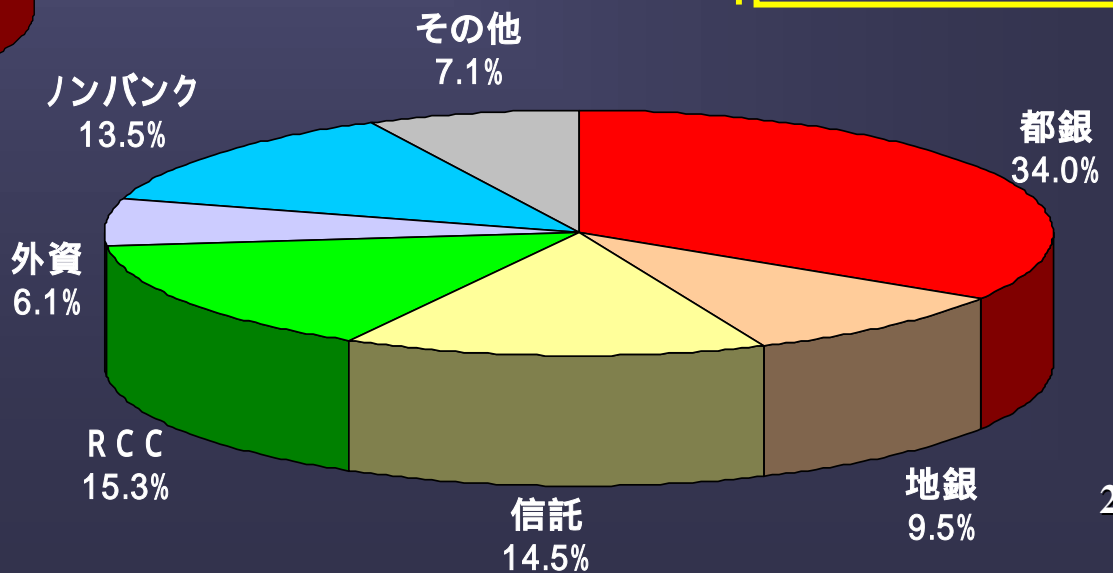


平成15年3月期
4,854百万円



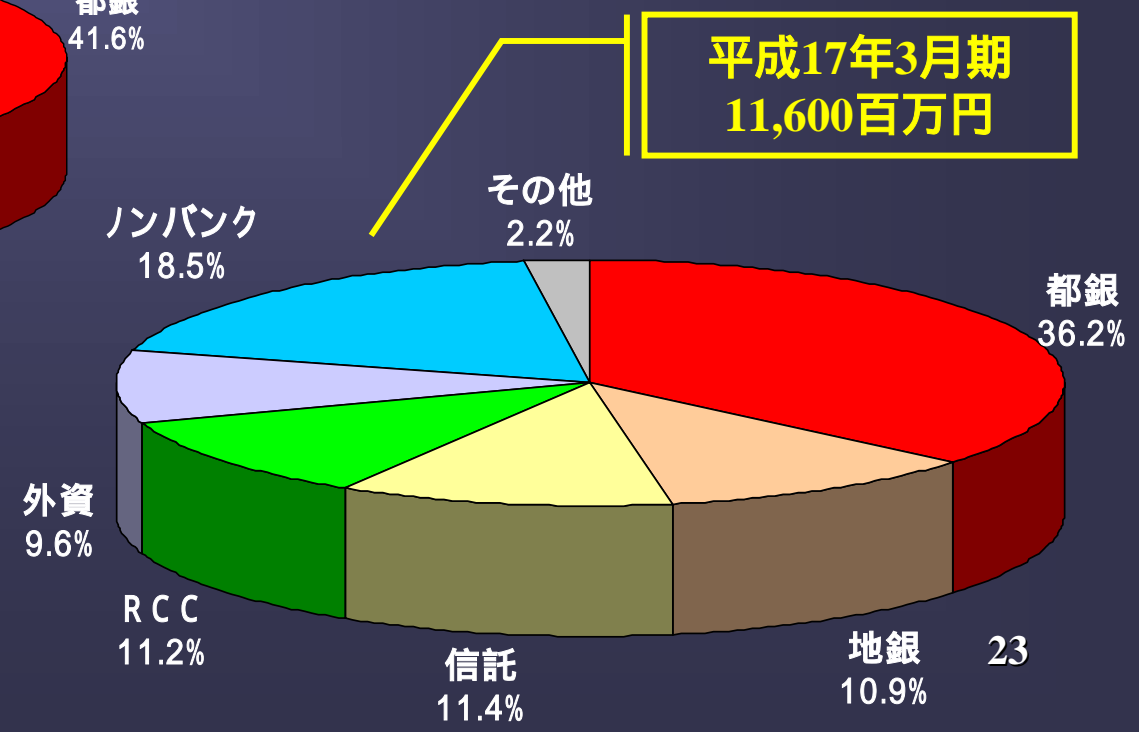
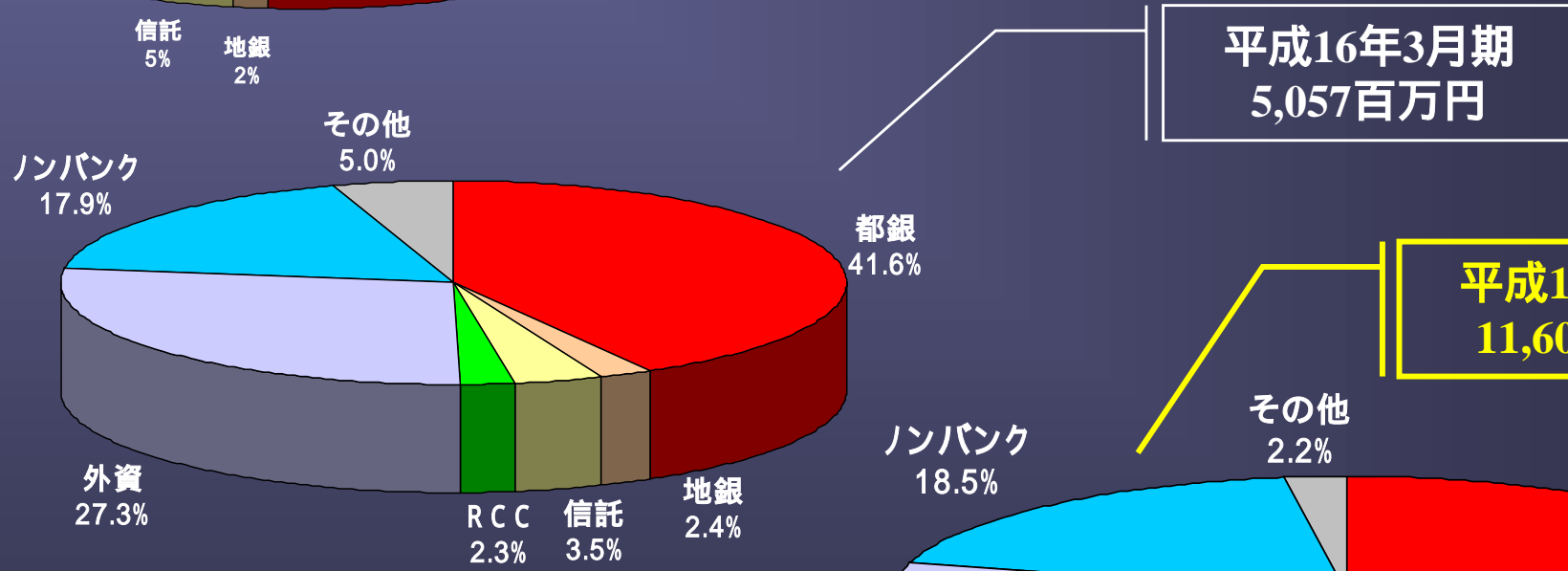
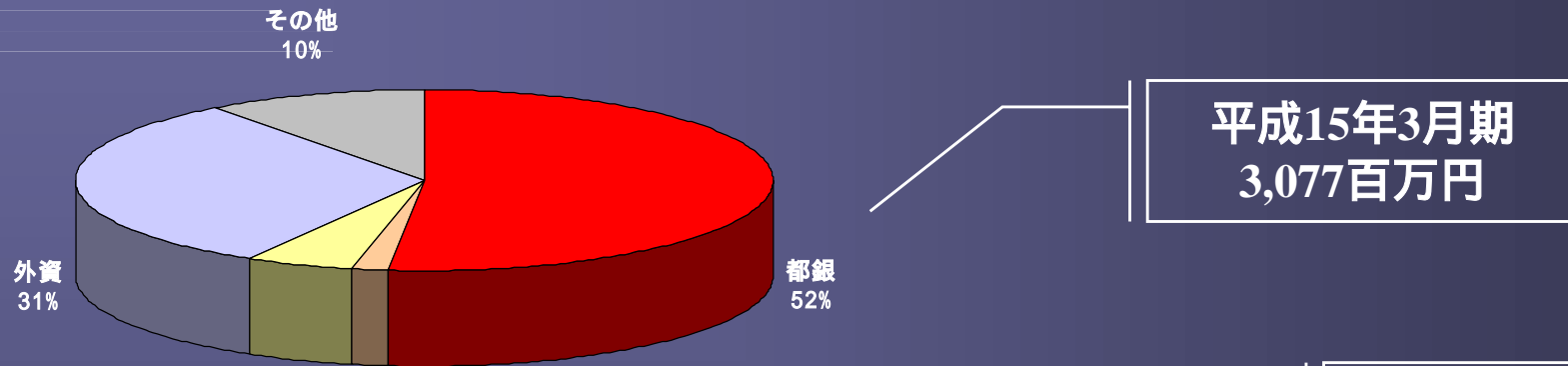
平成16年3月期
4,499百万円

平成17年3月期
13,071百万円



ニッシン債権回収の個別数値です。

取引先別 買取債権(残高)



ニッシン債権回収の個別数値です。

連結範囲

